

EUSI メールマガジン Vol. 082

「TPP、日 EU・EPA の政治 条約交渉、規制緩和、再規制をめぐる可能性についてのメモ」 (南佳利)

EUSI (EU Studies Institute in Tokyo)は、一橋大学・慶應義塾大学・津田塾大学の3校のコンソーシアムによるEUに関する教育・研究・広報を行う拠点です(詳しくは以下をご覧ください)

http://eusi.jp/content_jp/aboutus/about_eusi/

【EUSI Commentary Vol. 064】

「TPP、日 EU・EPA の政治 条約交渉、規制緩和、再規制をめぐる可能性についてのメモ」

南佳利 (元神戸大学大学院)

2015年10月に、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)が大筋合意をみた。巨大な経済圏があらわれることになるということになる。また、今後も、参加国が増えていくこともありうる。もちろん、批准手続がどう進むか、国内法の変更が必要な場合どのように立法されるか、など、不確定な部分もあるのは事実であるが、ここではその問題は扱わない。

ここで問題にするのは、TPP や日 EU 経済連携協定(EPA)が成立した後のことである。これらの合意は、一見すると自由貿易体制の確立や、規制緩和(deregulation)の進展を意味するように見えるかもしれない。しかし、EU の市場統合などをヒントに考えるならば、再規制(re-regulation)の契機は様々にあり、政治が介在する余地もあるのである。この点を TPP あるいは、日 EU・EPA から、考えてみたい。

さて、TPP が無事に批准手続の完了をみて、発効したとしよう。しかし、公表された TPP の条文にもすでに、再規制の契機は見いだすことは可能である。自由貿易の推進という時、とかく、関税撤廃、規制緩和の側面ばかりが強調されがちである。もちろん、その側面は重要なのだが、再規制の契機となりそうな側面も指摘できる。

例えば、労働者(第19章)、環境(第20章)のような分野についても規定が設けられ、保護がうたわれている。しかも、環境については、問題が生じた場合は最終的に、紛争解決手続(第28章)を利用することも定めている。パネルが設置され、そこに問題が付託されることになるのである(WTO のパネル手続を想起させる)。

これは一例だが、環境、労働、健康などの分野におけるなんらかの保護の要求、あるいは何らかの対立がきっかけに、再規制をめぐる政治が TPP の枠組みの中でも続くことはありうる。そこに日本はどのように関与していくのか。

...

(続きはこちら↓)

<http://www.hit-u.ac.jp/kenkyu/eusi/eusicommentary/vol64.pdf>

【EUSI イベントご案内】

1. EUSI シンポジウム「EU、日本及びアメリカの FTA」

日時: 2015 年 12 月 10 日(木) 13:15-17:30 (13:00 開場)

場所: 一橋講堂中会議場 (東京都千代田区一橋 2-1-2 学術総合センター2 階)

言語: 英語・日本語 (同時通訳付)

参加: 無料・事前申込要

1. 名前(フリガナ)、2. 所属、3. どうやってこのシンポジウムを知ったかを明記の上、12 月 7 日(月)までに EUSI 事務局(info@eusi.jp)に参加をお申込みください。

13:15 挨拶 中西優美子 (一橋大学教授、EUSI 所長)

13:20-14:20 「EU とアメリカ自由貿易協定(TTIP) 投資分野を中心に(仮)」

マーク・ブンゲンベルグ (ドイツ・ザールブリュッケン大学教授)

14:20-15:00 「EU の共通通商政策における権限 特に海外投資分野の権限について」

中西優美子 (一橋大学教授、EUSI 所長)

15:20-16:20

二本松裕子 (渥美坂井法律事務所・外国法共同事業パートナー)

ブルーノ・ジュリアン＝マルヴィ (駐日 EU 代表部通商経済部参事官)

明田ゆかり (外務省経済局、EUSI 主任研究員)

16:20-17:20 パネルディスカッション

<http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/2015-12-10/>

2. 外務省「MIRAI プログラム」参加者ご案内 (EUSI 開催分)

将来、欧州各国の外交政策に影響を及ぼしうる優秀な学生を招聘し、日本に対する理解を促進して、日本の学生との交流を行う機会を提供するための、MIRAI プログラムが外務省の支援により今年度から開始しました。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/erp/ep/page24_000531.html

今年は慶應義塾大学三田キャンパスで、EUSI 共催として、2015 年 12 月 17 日(木)に行う予定です。そこで、日本側学生の参加希望者を下記要領で募集致します。

募集対象・人員:

EUSI 傘下大学 (慶應・一橋・津田塾) 在学の学部生・大学院生 (合計 20 名)

応募方法・締切:

(1) 名前(漢字及びローマ字)、(2) 所属大学・学部・学年、(3) 参加希望分科会(政治・経済・文化のうち、第 1 希望・第 2 希望)を記入の上、EUSI 慶應分室(keio@eusi.jp)までお送り下さい

2015 年 12 月 7 日(月)締切。結果は 12 月 10 日までにメールでご連絡します

当日のスケジュール (2015 年 12 月 17 日(木))

10:00 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール (北館 1 階) 集合・受付

10:10-10:30 主催者・共催者挨拶

10:30-12:00 基調講演「アジアのなかの日本」(田中明彦 東京大学教授)

12:00-14:00 昼食及び休憩 (キャンパス見学)

14:00-15:30 分科会講義

1. 政治分科会 竹中治堅 (政策研究大学院大学教授)
2. 経済分科会 竹森俊平 (慶應義塾大学教授)
3. 文化分科会 谷口智彦 (慶應義塾大学教授)

15:30-15:45 休憩

15:45-17:30 学生ディスカッション (参加分科会で英語でディスカッション)

18:30- 懇親会 (夕食会)

(※当日の昼食代、夕食代は、主催者が提供します)

<http://eusi.jp/collaboration/program/mirai-program2015/>

3. ジャン・モネ EU センター(慶應義塾大学)よりシンポジウムのご案内

第 81 回慶應 EU 研究会「田中俊郎先生古希記念シンポジウム」

日時: 2015年12月5日(土) 13:15-16:35

場所: 慶應義塾大学三田キャンパス南館 B4 ディスタンス・ラーニング・ルーム

参加: 無料・事前申込不要

第一部 (13:15-14:45)

「EU の『実質的シティズンシップ』」

細井優子 (埼玉大学)

「EU の気候変動対策 COP21、その後に向けて」

和達容子 (長崎大学)

第二部 (15:00-16:35)

「EU の対中国通商戦略」

田中素香 (中央大学経済研究所客員研究員)

「田中俊郎先生のご業績のご紹介」

鳩貝真理 (外務省国際法局経済条約課課長補佐・弁護士)

「英国とヨーロッパ統合」

田中俊郎 (慶應義塾大学名誉教授)

http://eusi.jp/outreach/conference-symposium/conference-politics/jmcoe_symposium20151205/

4. 羽場久美子先生(青山学院大学)より「最近のロシア外交と国際関係」講演会

日時: 2015年12月2日(水) 15:00-17:00

場所: 青山学院大学青山キャンパス 総研ビル 9F 第 16 会議室

言語: 英語

参加申込先: 青山学院大学国際研究センター (rsc@sipeb.aoyama.ac.jp)

15:00-16:00 講演

「The Current Russian Foreign Policy and International Relations」

Konstantin Khudoley (サンクトペテルブルク大学国際関係学研究所所長)

「Russian Security and Syria Questions」

兵頭慎治 (防衛研究所地域研究部長)

16:00-16:30 コメント

「Russia and Japan」

Petr Podalko (青山学院大学教授)

「Immigrants and Homegrown Terrorism in the EU」

羽場久美子 (青山学院大学教授)

16:30-17:00 ディスカッション

<http://www.sipeb.aoyama.ac.jp/workshop/22russia-and-international-relations.html>

【アジア太平洋 EU センター大学院生ワークショップ報告者募集(1/21-22:タイ)】

毎年 1 月から 2 月に行われるアジア・太平洋 EU センター大学院生ワークショップの報告者募集のご案内が届いています。

今年度はタイのバンコクにあるチュラロンコン大学ヨーロッパ研究センターによる主催で、2016 年 1 月 21-22 日に開催されます。

なお報告する大学院生の渡航費は EUSI が負担し、宿泊費は主催機関 (チュラロンコン大学ヨーロッパ研究センター) が負担します。

そのため報告者の費用負担は、現地での食費などを除き実質的にありません。

ぜひ多くの皆様による参加を願っています。

対象: EUSI 傘下大学 (一橋・慶應・津田塾) 所属の大学院生 (修士・博士課程)

テーマ: EU 研究に関するものであれば何でも可

(政治・経済・法・社会その他いずれも問いません)

報告: 英語

EUSI 内募集期間: 2015 年 12 月 12 日(土)

EUSI 内募集:

1. 名前・所属大学院研究科・学年、
2. 報告タイトルと英文要旨 (100 words 程度) を、

info@eusi.jp と tanatoshiue@z7.keio.jp (田中俊郎 EUSI 理事/選考委員)までお送り下さい。応募者多数の場合は 2 名を選抜し、12 月 15 日(火)までにご本人に連絡します。

英文要旨の正式提出と登録: 2015 年 12 月 17 日(木)まで (100 words 程度)

報告ペーパー及びパワーポイント提出: 2016 年 1 月 10 日(日)終日まで

ワークショップ前レセプション: 2016 年 1 月 20 日(水)

ワークショップ(本番): 2016 年 1 月 21 日(木)-22 日(金)

ワークショップ会場: タイ・首都バンコク チュラロンコン大学

<http://eusi.jp/collaboration/program/asiapac-grad-workshop2015/>

【EU に関するニュース】

2015 年 10 月 31 日 ECB、ギリシャ 4 大銀行の健全性審査結果発表。資本不足額は当初想定下回る 144 億ユーロ

2015 年 11 月 1 日 トルコ総選挙、与党 AKP 圧勝。翌日モグリーニ上級代表ら、同国との協力強化謳う声明

2015 年 11 月 1 日 欧州委員会、シリア難民保護のためヨルダンに 2800 万ユーロの人道支援発表

2015 年 11 月 2 日 欧州委員会、シリア難民保護のためレバノンに 4300 万ユーロの人道支援発表

2015 年 11 月 2 日 モグリーニ上級代表、ジャーナリストへの犯罪不処罰をなくす国際デーに寄せて声明発表

2015 年 11 月 3 日 欧州委員会、シリア国内の難民保護のため 6200 万ユーロ人道支援、3 日間計 1.33 億ユーロ

2015 年 11 月 3 日 ファン＝ロンパイ欧州理事会前常任議長・日 EU 俳句交流大使、旭日大綬章受章

2015 年 11 月 4 日 トゥスク議長・ユンカー委員長、G20 サミットに向け EU 各加盟国首脳宛書簡で議題 6 点提示

2015 年 11 月 4 日 日・EU 外相会談、ASEM 外相会合に併せて開催。アジアやシリアなど地域情勢や EPA 等協議

- 2015 年 11 月 4-6 日 欧州議会国際貿易委員会代表団来日、日・EU EPA 交渉に関して日本政府・財界らと協議
- 2015 年 11 月 5 日 欧州委員会、2015 年秋季経済予測発表。2016 年は成長率 1.8%・インフレ率 1%と下方修正
- 2015 年 11 月 5 日 欧州委員会、大量の移民・難民流入対策として、スロベニアに 1017 万ユーロの緊急支援
- 2015 年 11 月 5 日 Eurostat、9 月小売売上高(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国前月比-0.1%、EU28 カ国同+0.3%
- 2015 年 11 月 5 日 ECB と欧州銀行監督機構(EBA)、欧州の 53 銀行の健全性審査を来年 2 月末から実施と発表
- 2015 年 11 月 5-6 日 第 12 回 ASEM(アジア欧州会合)外相会合、気候変動や両地域連結性、ASEM の将来など協議
- 2015 年 11 月 6 日 欧州委員会、大量の移民・難民流入対策として、クロアチアに 1643 万ユーロの緊急支援
- 2015 年 11 月 7 日 EU 報道官、分断以後初となる中台首脳会談を受けて、歓迎と両岸関係の平和の期待を声明
- 2015 年 11 月 8 日 クロアチア総選挙、野党・中道右派連合が与党・中道左派連合に僅差勝利も過半数届かず
- 2015 年 11 月 9 日 EU 司法・内務理事会、難民危機に関して各国受入能力拡大や再定住プロセス加速など協議
- 2015 年 11 月 9 日 モグリーニ上級代表、ウクライナ訪問。ポロシェンコ大統領や首相・外相らと同国情勢協議
- 2015 年 11 月 9 日 モグリーニ上級代表、ミャンマー総選挙を受けて選挙結果の尊重と政治的移行支援の声明
- 2015 年 11 月 9 日 英 Times 紙、キャメロン英首相が EU 残留・離脱問う国民投票を来年 6 月に実施の意向と報道
- 2015 年 11 月 9-13 日 「EU があなたの学校にやってくる」開催。全国 54 校で EU 及び加盟国外交官出張授業
- 2015 年 11 月 9-14 日 ランプリニディス EU 人権問題特別代表、訪中。人権活動家逮捕や治安法案等に強い懸念
- 2015 年 11 月 10 日 EU 経済・財務理事会、気候変動への財政支援や、資本市場同盟構築の行動計画など協議
- 2015 年 11 月 10 日 モグリーニ上級代表、ジョージア訪問。東方パートナーシップ確認や監視ミッション視察
- 2015 年 11 月 10 日 欧州委員会、西バルカン諸国及びトルコの EU 加盟進捗状況評価年次報告書を採択
- 2015 年 11 月 10 日 欧州委員会、西バルカン経由の難民保護のためユニセフに 200 万ユーロの追加支援
- 2015 年 11 月 10 日 キャメロン英首相、移民への福祉制限等含む EU 改革の要求 4 点をトゥスク常任議長に送付
- 2015 年 11 月 10 日 シュミット元西独首相逝去。ユンカー委員長、ジスカールデスタン元仏大統領ら哀悼声明
- 2015 年 11 月 10 日 ヨハニス・ルーマニア大統領、チオロシュ前欧州委員(農業・農村開発担当)に新首相任命
- 2015 年 11 月 11 日 EU・エチオピア、移民・難民と移動に関する共同行動計画(CAMM)調印。難民問題で協力
- 2015 年 11 月 11 日 スロベニア、クロアチアとの国境沿いに難民流入防止フェンス設置工事開始
- 2015 年 11 月 11-12 日 EU 及びアフリカ諸国、難民問題首脳会議。行動計画 5 項目や EU 緊急信託基金創設で合意
- 2015 年 11 月 11-12 日 第 4 回 EU 核不拡散・軍縮会議、2015 年 NPT 再検討会議決裂の意味やイラン核合意等協議
- 2015 年 11 月 12 日 欧州委員会、EU 域内産農産品の新販売促進計画 33 件承認。品質・安全性・衛生等に力点
- 2015 年 11 月 12 日 Eurostat、9 月鉱工業生産(季節調整済)はユーロ圏 19 カ国前月比-0.3%、EU28 カ国同-0.1%
- 2015 年 11 月 13 日 パリ同時多発テロ、死者 130 名超。翌日、EU 加盟国首脳・EU 諸機関長ら、哀悼の共同声明
- 2015 年 11 月 13 日 Eurostat、7-9 月実質 GDP(速報値)はユーロ圏 19 カ国で前期比+0.3%、EU28 カ国同+0.4%
- 2015 年 11 月 15 日 日・EU 首脳会談、G20 サミットに併せて開催。パリ同時多発テロや EPA・SPA 交渉加速協議
- 2015 年 11 月 15-16 日 G20 サミット、トルコのアンタルヤで開催。テロとの闘いや難民危機や成長戦略等協議

【編集後記】

先日、高校で授業をしてきました。EU 代表部のイギリス人と一緒に、EU のことを高校生に理解してもらうために行っています。

大使館の方は「世界の中の EU、日本と EU との関係」というテーマで、私は「EU から日本は何を学べるかー市場統合、通貨同盟、民主主義ー」というテーマで話をしました。私のつたない英語でどれくらい内容が伝えられたかはわかりませんが、皆熱心にノートをとってくれ、終わった後も残って質問に来るなど、意欲的で真面目な若い力から刺激をもらって帰ってきました。

二日後には、広尾にある EU 代表部において、日本にある EUSI を含む 4 つの EU センターの代表が一堂に会して、EU 側と協議を行う年次会合が開かれました。冒頭、各センターから最近の活動状況と今後のスケジュールについての報告が行われましたが、それぞれが工夫を凝らしてアピールを行っていました。その後、EU 側から、政治、経済、通商、科学技術などの分野について EU としての取り組みや日本との関係について説明がなされ、日本の各センターとの協力関係の強化について議論を行いました。EU 代表部と日本の各センターが、また各センター間で、共同でプロジェクトを実施するという事は決して簡単なことではありませんが、こうして一同が顔を合わせて議論することによって、そのインセンティブも高まることを実感しました。

今回の南先生の巻頭エッセイは、日本と EU との EPA 交渉について興味深い示唆を与えていただけるものです。告知いたしましたように、12 月 10 日(木)には、竹橋の一橋講堂において、FTA をめぐって少し角度を変えたシンポジウムを実施する予定です。興味のある方のご参加をお待ちしています。

(藤川哲史・EUSI・一橋大学・EUSI メールマガジン編集担当)

11 月 13 日に起こったパリ同時多発テロ事件は、ヨーロッパのみならず国際社会全体を震撼させる出来事でした。その後も事態は目まぐるしく動き続けており、日ごとに新たな展開が生まれています。

まず事件直後より、テロの犠牲となった人々に対して哀悼の意を示す動きが生まれ、SNS ではトリコロールの写真が溢れるようになりました。その一方で、シリアやレバノンなど中東では同様のテロが頻発しているにも関わらず、なぜフランスの場合にだけこのような同情を示すのか、という批判も生まれるようになりました。

また、この事件を契機に、国際的な IS(イスラム国)掃討のための軍事作戦がさらに本格化することとなりました。特に印象的だったのは、私は今回 NATO の枠組(北大西洋条約第 5 条(集団防衛条項))ではなく、EU 基本条約第 42 条第 7 項(相互防衛条項)に基づく集団的自衛権の行使を求め、史上初めてこれが発動されることとなりました。これを受けて、英は仏とともに空爆作戦に参加することとなり、独も対 IS 作戦のためマリアに駐留する仏軍の肩代わりに追加派兵の意向を示したのに対し、伊は軍事的措置には慎重な姿勢を示しています。そのような中で、対 IS 作戦実施をめぐりロシアとトルコとの間に新たに緊張が高まっており、11 月 24 日にはトルコがロシア機を領空侵犯のため撃墜するといった事態が発生しています。今後この両者の対立がより大きな衝突へと繋がってゆくことにならないか、世界が注視しています。

パリでは本日より、COP21(国連気候変動枠組条約第 21 回締約国会議)が開催されます。テロによる厳戒態勢の中で、2020 年以降の新しい枠組に関する合意がなされるかどうか、これからの 2 週間パリでの会議に世界の耳目が集まることとなるでしょう。人類の未来に繋がる大きな成果が生まれるかどうか、固唾を呑んで見守っています。

(林 大輔・EUSI 慶應分室・EUSI メールマガジン編集担当)

EUSI (EU Studies Institute) in Tokyo
〒186-8601 東京都国立市中 2-1
一橋大学 マーキュリータワー#3504 EUSI 事務局
TEL: 042-580-9117 / E-mail: info@eusi.jp

ご意見、ご感想、配信登録・配信停止、その他メールマガジンについての
問い合わせにつきましてはこちら
E-mail: info@eusi.jp
